



■プロフィール

1966年(昭和41年)9月12日生まれ
皓台寺幼稚園、小島小、小島中、県立長崎南高等学校、活水短期大学英文科卒業 / 法政大学大学院政策創造研究科修士課程修了 /

(株) エフエム長崎入社 /

上京後 2000年(有) アップトゥユー設立(ラジオ番組制作、イベント企画会社)(有) アップトゥユー代表取締役

長崎県議会議員(3期)

2018年文教厚生委員会副委員長 / 総合交通対策特別委員会

長崎商工会議所青年部 OG

日本JCシニアクラブ 会員

一般社団法人長崎青年協会 OG

公益社団法人東京青年会議所 特別会員

表千家同門会 長崎県青年部 元副部長

桜花遠州流 華道家元 顧問

ガールスカウト 長崎県第八団 副団員長

長崎県生麺協同組合 顧問

長崎県ボールルームダンス連盟 顧問

長崎県テコンドー協会 顧問

長崎中央リトル・シニア 顧問

長崎少年ソフトボール協会相談役

長崎県ブラインドサッカー協会理事

吉田麻也長崎後援会役員

政党：自由民主党

■浅田ますみ後援会事務所

〒850-0861 長崎県長崎市江戸町5-8 一ノ瀬ビル 601号

TEL : 095-821-2706 (代表) FAX : 095-821-1924

E-mail : info_asada@asada-masumi.com

http://asada-masumi.com



主催イベント報告 活動報告

政治家になり、常に思うことは、「多くの方の意見を聞き政策に活かしたい!」「様々な課題を議論したい!」そんな思いから毎年イベントやシンポジウムを開催しています。この4年間でも、子供たち、学生、シニア世代に向けて開催してきました。



- 2015年 10/1 (木) 『学生と考えるリモートワークス』
- 2016年 5/21 (土) 『長崎から若者の政治参画を動かすサミット』
- 5/29 (日) 『今こそ備えよ常に防災集会!』
- 2017年 4/1 (土) 『長崎のまちづくりについて考える』
- 8/19 (土) 『グローバル社会で生き残るには?!』
- 10/19 (木) 『国政を語る!長崎を語る!』
- 2018年 8/17 (土) 『これからの介護を問う』
- 8/18 (日) 『働き方改革を超えた働き方革命』
- 14年間連続開催
『井上あずみファミリーコンサート』
- 3回目 2019年2月開催
『Age & Beauty Festival』 シニアファッションショー



※Facebook・Twitterでも活動報告をしています。

浅田ますみ

検索



長崎を育み
未来を創る

浅田ますみ



ASADA MASUMI 2019

討議資料

育 浅田ますみの決意

「4 期目の挑戦です！」

早いもので、県議会議員になり 12 年が経ちました。
この 12 年間で長崎は大きく変わっています。
残念ながら、人口流出は著しく、
未来を守るまちづくりをするには待ったなしの状況です。
これまで以上に、県民生活を守るため、
長崎の未来を創るために闘う姿勢を貫き通します。

1. 人を育む

地域を創るために一番大切なのは、「人」。長崎に生まれた子どもたちをいかに育てていくのかをしっかりと政策に組み込んでまいります。長崎を愛する心を養い、国家観を養う教育、それがグローバル社会の中で生き抜く力にもなります。また、子ども達だけでなく、誰もがいつまでも学びの機会を得る生涯学習、更なるステップのためのリカレント教育(社会人の学び直し)などにも力を注いでまいります。

2. 街を育む

県民と行政のための IoT*を利用した新しい街づくり。都市機能や居住地域をコンパクトにまとめる行政効率の良い「まちづくり」を目指します。効率化を図るためのデータを IoT を利用し、集め、様々な施策を通し新しい長崎をつくります。

* IoT:Internet of Things (モノのインターネット)
身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み。

3. 文化を育む

長崎のように文化と歴史に恵まれた場所はありません。しかしながら、歴史あるものを守らない状況が、ここ最近見受けられます。世界に誇れる長崎を守らなければなりません!そんな長崎の歴史、文化を活用した映画や音楽の発信も提案してまいります。

『コンテンツツーリズム入門』共著



4. 幸せを育む

長崎に暮らしている「人」の生活を守ることが大切です。高齢者や障がいを持った方がどうこの街で暮らしやすくなるのか。街も、心もバリアフリーな空間をつくることを目指します。

5. 希望を育む

何より地場企業活性化を推進し、その上で、企業誘致を図ることで雇用の場を広げ、これ以上、若者をはじめとした人々が流出しないように努めます。そして、女性の雇用環境を整えることで、長崎の活力をあげていきます。

6. 長崎を育む

長崎が大好きです!離れた時期があるからこそ、より良さを感じます。だからこそ、政治家として 12 年間、如何に長崎を活性化させるかと考え、活動しています。特に、県都の衰退は、放置するわけにはまいりません。県庁移転を反対し続けた者として、跡地活用は無駄なく効果あるものにしなければなりません。駅周辺のあり方と共に提案しながら、課題が山積するこの長崎を育み守ってまいります。



一般質問でも何度も訴えてきた
SDGs (世界共通の持続可能な開発目標)
の視点で!